

1. 授業の概要(ねらい)

鉄道、上下水道、電力、道路、港湾等のインフラは国民生活や経済活動に不可欠ですが、これら個別の分野の課題については注目度が低いのが現状です。わが国では人口減によりインフラ市場の縮小と老朽化するインフラ設備の維持・管理といった問題を抱えている一方、新興国では都市化の進展等により新規のインフラ投資需要はアジアを中心として膨大です。

こういった状況を踏まえて、日本政府はインフラシステムの輸出による新規インフラ需要の取り込みを重要な成長戦略として位置付けており、官民連携の推進や金融面での支援拡大等の方針を打出して、日本企業のインフラビジネスの海外展開は今後とも拡大し続ける傾向にあります。

本講義では講師自身の商社・エンジニアリング会社でのインフラビジネスの実務経験に基づき、春学期では個別のインフラ分野に関して日本市場の特殊性、その特殊性から来る日本企業の強み・課題、インフラ輸出に関する日本政府の方針や課題等につき分析を行います。また秋学期ではインフラ輸出を支える金融や地方自治体による都市インフラ輸出等に加え、日本国内のインフラ老朽化問題や官民連携による上下水道等のインフラ整備の現状・課題等につき集中的に分析を行います。

学生の皆さんには一つでもインフラ分野に興味を持ってもらい、今後の就職やキャリア形成に役立ててもらうことを目指します。

2. 授業の到達目標

授業で分析を行う対象分野の内興味を持った分野について、その分野の特徴やその分野で活動する日本企業の競争力や課題について良く理解してもらいます。

3. 成績評価の方法および基準

期末に授業の中で分析したインフラ分野の中から皆さんが興味を持った分野を一つ選定し、その分野の特徴やその分野で活動する日本企業の競争力の課題等につきレポートを提出してもらいます。

皆さんがどこまで深堀をしてかつ今後の課題について積極的に考えられたかを評価するもので、授業の中での細かい技術的のものの理解を求めるものではありません。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使わず、パワーポイントを中心に説明します。公開資料もありますので都度授業で引用書類について説明します。

参考文献

授業の中で適宜紹介します。

5. 準備学修の内容

各自授業内容や引用書類を復習してもらおうと共に、新聞等に出る最新のインフラ関連記事について自ら積極的に精査してください。

6. その他履修上の注意事項

ゲストスピーカーに専門分野の説明をお願いする可能性があります。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション(LMS)
- 【第2回】 総論
- 【第3回】 エネルギー分野
- 【第4回】 再生可能エネルギー分野
- 【第5回】 鉄道分野
- 【第6回】 空港分野
- 【第7回】 電力分野
- 【第8回】 上下水道分野
- 【第9回】 港湾・建設及び不動産・都市開発分野
- 【第10回】 情報通信分野
- 【第11回】 道路・建設機械・防災分野
- 【第12回】 医療・農業・食品及び宇宙分野
- 【第13回】 造船・製鉄・ソフトインフラ分野(LMS予定)
- 【第14回】 予備(ゲストスピーカー他)
- 【第15回】 総括/レポート